

ベイタウンのIT事情

森首相に言われるまでもなく、IT(インフォメーションテクノロジー)は私たちの生活に身近なものになりつつあります。ネットで情報収集をしてからベイタウンに入居して来る人、出店にあたってネットに住民の声をリサーチしたという人、打瀬中の親と先生の会「パティオスの会」でも連絡網にメールを使ったり、このベイタウンニュースも打ち合わせや原稿の校正などにならなくなっています。無限大にありそうなIT(情報技術)の活用例をベイタウンに取材しました。

【浜田・佐藤】

人と人、国と国とを結



外国人向け私設日本語講座

打瀬小・中紹介ページ

極私的米文学コーナー

ミネソタ・リポート

高校のランチ情報なども楽しい鈴木さんのHP

<http://www.asahi-net.or.jp/fif2n->

ベイタウンのポータルのサイト ベイタウンネット

97年秋から、住民有志(マルチメディア研究会)によりスタートした、幕張ベイタウンのホームページは、2000年春にcomドメインを取得してグループ名称も baytown-net.com に改め、運営を開始しました。

同ホームページ内には、街のイベント、グループ活動、バスの時刻表、番街・ショップの紹介のほか、双方向のツールとして、三つのBBSがあります。また、リンク集には、「CPW」「東の街」「西の街」「4番街」のHPが設けてあり、番街単位での住民の意見交換の場になっています。今回ご紹介したHPもここからアクセスできます。他にもいろいろ楽しいHPがあるのでのぞいてみてください。

★ <http://www.baytown-net.com/>

インターネットを始めた94年、まず開設したのが外国人向け私設日本語講座。日本語教師資格を取ったので、ちょっと利用してみようというのがきっかけでした。そのうちホームページ(以下HP)そのものが面白くなって、少しずつコンテンツを増やしてみました。

外国人から日本語に関する問い合わせメールが来ていたので、掲示板(BBS)を設置し、以来様々な国の人からのメールに対して、挨拶・文法・漢字について答えたり、平仮名・カタカナチャートを送ったりしています。カナダ人のおじさんの友だちもできました。彼は私の友人宅などを拠点に、現在日本を旅行中。私もこの夏プリンスエドワード島を訪ねるつもりです。

その時その時、発信したいと思うものを気ままにのんびりと続けていきたいですね。本当に面白ければ、可能性や発展性もあるでしょう。膨大なデジタル情報の海の底に、自分の居場所を確保できたらいいですね。

◆1番街の鈴木能理子さん談。'95年からベイタウン住民だが、現在ミネソタ州ブルーミントンの高校で日本語を教えている。

音楽の街と仲間づく

ボランティア仲間募集に

つい先日編み物のHPに載っていた「コンボの子どもたちに、マフラー・帽子を編んで送ってください」という記事を見て、「ベイタウンネット」のBBSに「編み物の好きな方、一緒にまとめて送りますか?」と書き込んだところ、締め切りまで1週間しかなかったにも関わらず、すぐに東の街の小菅さん、18番街の森さんからメールが!

他に幕張の方も参加して、帽子やマフラー19点を送ることができました。ネットの即戦力に驚かされた嬉しい出来事でした。(浜田)



この街にはイベント情報がなく、「ならば、自分たちで作ってしまおう」と。最初はカレンダー的なものを考えていたのですが、発起したメンバーがベイタウン中年バンドのメンバーだったので、「どうせなら、一緒に楽しめる仲間を作るページにしよう!」ということになりました。

まず、身近な街のニュースを書いたら、思いの外賞賛や応援の声をいただきました。次にアンケート。これも予想を上回る回答をいただき、ここに住む人たちの興味・関心・不満など、とても楽しく、一方で考えさせられる声が多く寄せられました。

ただ、私たちがやりたいのは、バンド活動をしたり、ライブイベントを企画したり、仲間達とバーベキューをしたり...その告知や、新しい仲間を集めるために、媒体の一つとしてHPを作っているだけです。今のところHPが最も効果的で、簡単な媒体だということで、当◎俺達ページのURL分はこのページを通じて楽しい仲間を増やし、ベイタウンに <http://www.geocities.co.jp/> 音楽という花を添えていきたいと思っています。 ◆CPW 小野さん



ライブ・イベント情報

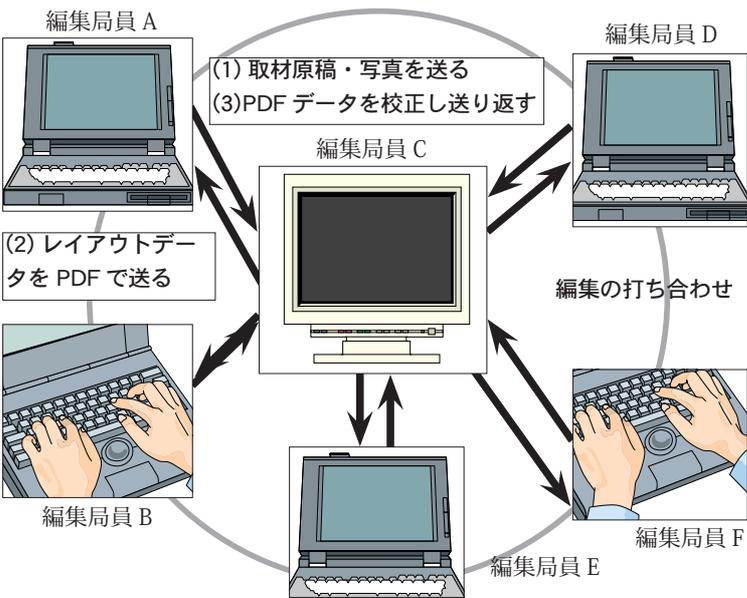
街のニュース

アンケート

ニュースの編集に

ベイトウンニュースの編集作業は完全に IT 化されています。編集局員間の連絡はもちろん、それぞれが取材した原稿や写真をレイアウト担当の編集局員 C にデジタルデータで送り、レイアウトができた段階で PDF データで、編集局員全員に配信します。ここで誤植や原稿の不備をチェックして最終データを作り、印刷会社へ。最近では写真もデジタルカメラで撮るため、手書きイラストなどの他はほとんどデジタルデータでやりとりが可能です。

また、今回のミネソタ州在住の鈴木さんへの取材もメールのやりとりで可能になったほか、地方に単身赴任している編集局員も編集作業に関わることができるなど、距離を感じずにコミュニケーションできるのも大きな魅力です。さらに「ベイトウンネット」上でもニュースは毎号紹介されており、ベイトウン以外の地域の方にも見ていただけるようになっています。



中学生とパソコン

打瀬中学校では、調べ学習にインターネットを利用するのは勿論、英語の授業で外国にメールを送ったり、ワープロソフトでの作文、卒業前にはプレゼンテーションソフトを使って「自分の学習の足跡づくり」をしたりと、皆パソコンに慣れているので、帰宅後の友達とおしゃべりも、長電話ではなく E-mail のようです。

ベイトウンの IT を支える通信環境は？

◆インターネット高速常時接続サービス体験中!!

常時接続サービスを利用している東の街 IT 担当者にお聞きしました。「東の街で、113 戸が加入しているニューラルネット社のサービスは、マンション内に 100Mbps の LAN を敷設しインターネットには 1.5Mbps の専用線使用のベストエフォート型 (使う人が共有する) サービスです。利用者の感想は『つなげばなしで、いつでもメールの送受信ができる!!』などまずまず好評。」また、西の街も「同じくニューラルネットのサービス募集中で、最終的には 100 戸を超えるだろう (西の街倶楽部)」との事です。

他には 18 番街で、CNC の各部屋に設置されている、ケーブル TV 端子を利用して常時接続するサービスのモニタリングも実施中です。

<ニューラルネット / 基本使用料月 3,900 円 導入費用 38,500 円 CNC / 料金・加入時金 25,000 円 利用料月 5,600 円※既に多チャンネルサービス利用者は加入時金 20,000 円、TV 利用料月 - 1,000 円のサービスあり。通信速度: 256kbps (ベストエフォート型) ※増速予定

◆電波を使っっての高速インターネットの可能性

このように高速常時接続サービスが各社から提供され始めましたが、ベイトウンでは、幕張新都心の先進性 (光ファイバ) が逆にじゃまをして ADSL などの普及は難しいのです。そのような環境の中で無線を使う常時接続サービスがある事を皆さんご存じですか? 無線と言っても、ISM バンドを利用して基地のあるビルからマンション屋上などに設置したアンテナに電波を飛ばし、その回線をマンションで共有するというものです。三井不動産の子会社のビットキャット (<http://www.bitcat.com/>) が、同不動産所有のテナントビルにそのサービスを開始し、革新的価格で高速常時接続サービスを提供しています。ちなみに WBG も 3 月からサービス開始です。この会社では、マンション向けサービスも開始予定ですので、住民から多くの声があがると早期サービスの実現もあるかもしれません。

新都心学園探訪 Vol.2

千葉県立幕張総合高等学校

近代的で巨大。これが幕張総合高校に入って最初に感じた印象だった。生徒数は 2184 名。しかし建物の規模はとも 2000 名程度の高校とは思えない。前衛的とも思える校舎の外観と相まって、むしろ新設の大学という印象さえ受ける。新都心の学園探訪シリーズ。第 2 回はベイトウンからは最短距離にある県立幕張総合高校取材した。お話をしたのは、校長の太田道和先生。

幕張総合高校は平成 8 年、新しい高校教育を実践するパイロットスクールとして東・西・北、3 つの幕張高校を統合して誕生した。同校の最大の特徴は総合選択制という授業方式。通常の高校の授業と違い、生徒は 200 近くある講座の中から自分の学びたい講座を選択して受けることができ、3 年生では一週 32 時間の授業のうち、27 時間を選択科目で履修することが出来る。講座の中には数学や歴史など基礎科目もあるが、中国語やフランス語、演劇や器楽といった専門的な科目や、高度な数学、物理なども用意されている。生徒は自分の希望や将来の進路を考えて、自分で学習のプランを立

てることができる。

しかし、生徒の自由度が高いということは、学習意欲のない生徒は遊んでしまい、制度としてはリスクを伴うのではないかと。自分の大学時代を思い出し、そんな疑問を感じたが、そんな心配はこの高校には無用であったようだ。幕張総合高校には通常の公立高校のような学区がない。千葉県内全域から優秀な生徒を集めることができるのだ。実際生徒の出身中学を見ると、千葉市内の中学からの進学者は 30% 程度。他は船橋市や市川市、遠くは勝浦や千葉県外から通学して

いる生徒もいるそうである。今までは学区の関係で、県内の一流と言われる高校に進学できなかった優秀な中学生が同校に集まる結果となり、今年の入学試験でも 1.8 倍以上の競争率となっている。学ぶ意欲の高

(次ページの下端へ)



新しい小学校の名前は「海浜打瀬小」

千葉市はこのほど、4月開校を目前に控えた新しい小学校の名前を「千葉市立海浜打瀬小学校」とする議案を、いま開会中の市議会に提出しました。3月16日には議案の討論・審議に入る見通しで、可決・成立すれば「海浜打瀬小」の名前が正式決定します。打瀬小に続く二番目の小学校の名前をめぐるっては、市主催の説明会の場で住民から「『第2』という名前はつけて欲しくない。地域の特性とか、そういうものを生かした名前をつけて欲しい」との要望が出たのを受けて、市では昨年7月、「校名候補」「選定理由及び根拠」を尋ねるアンケート調査に踏み切り、住民の提案も参考にしつつ名前を決める姿勢を明らかにしていました。

市教育委員会企画課の岩内正道課長によれば、アンケートに寄せられた回答は51。そこであげられた「校名候補」の上位三つは、提案の多かった順に、「第2小」「海浜小」「マリン小」とのことです

「第2小」と「エコパーク」の名前決まる？

「エコパーク」の公開名称選定会を開く

新しい小学校の脇に住民主体で「エコパーク」の整備を進めている「幕張ベイタウンにエコパークをつくる会」（小川かほる会長、18番街在住）は2月24日、パティオス2番街で公開の名称選定会を開きました。公園や緑地を完成後管理する千葉市が住民の提案をもとに正式な名前を決めることになったことから、エコパークをつくる会が住民の提案を公募。市への提案を前に応募案の中から候補を絞り込みました。エコパークの会では、絞り込んだ候補から5点程度を選んだうえで3月上旬にも市に提案する予定です。

会場には、公募に応じた住民を中心におとなと子供合わせて24人が集まり、自薦・他薦の意見を繰り広げたとうえで、応募案146点を、投票で4票以上獲得した以下の14点に絞り込みました。「エコパーク打瀬/打瀬エコパーク」「うたせネイチャーパーク/打瀬ナチュラルパーク」「風神山ひろば」「打瀬ふれあい緑地」「打瀬おもしろパー



(ただしここでは、「打瀬」という名前が前後どちらかにつくものもつかないものも同じ提案として数えているそうです)。このほか「潮風小」「渚小」「美浜小」「見浜小」などの名前も、複数の回答者から提案が寄せられたものといえます。海をイメージさせる名前が多く見受けられるのは、場所柄、当然の結果でしょう。

議案を決めるにあたって市は、独自の選定基準をもとに検討したとのこと。選定基準の中には、町名や地名のような土地に固有の名前を使うようにする、わかりやすさや親しみやすさを求めるなど、「いかにも」と思わせる考え方がある一方で、「第1」「第2」とか「東」「西」「南」「北」のようなこれまで使ってきた言葉を序列付けにつながるなどの理由から否定する考え方も打ち出しています。アンケートで提案の最も多かったという「第2」案はこれに照らすと“失格”。続く「海浜」案を採用したのは順当な選択とも言えましよう。

【茂木】



ク」「うたせどろんこパーク」「うたせ池」「うたせつ子ひろば」「南風ひろば」「原ばあく/原っパーク」「風神ひろば」「草の芽広場」「うたせ沼」「うたせ溪谷」（/付きのものは、前後で別の応募案ながら類似性が高いことから集計では票を合算したもの）。

【茂木】

公募期間中には現地説明会も

エコパークをつくる会では公募開始から2週間たった2月17日、現地説明会を開きました。参加者はおとなと子供合わせて30人近く。午後2時に打瀬2丁目公園に集合



して、小川かほる会長から計画の説明を受けたあと、千葉県企業



庁の担当者の案内で現地入り。しばらく見学してから再び2丁目公園に戻り、小川会長から名前をつけるにあたって基本となる考え方を聞いたうえで、午後2時30分に解散しました。

い生徒を確保できていることで、総合高校の学科選択制というしくみは、十分にその効果を発揮しているようである。

総合選択制という新しい取り組みは、この高校に更に進んだ授業形態をもたらすことになった。千葉工業大学との提携で、同校の生徒は千葉工大の授業を受け、それを高校の単位として取得することができる。幕張総合高校ではこの制度を、神田外語大学や千葉大学、中央大学との提携にまで広げたいと考えており、実現すれば同校の生徒は高校内で得られないより高度な外国語

の授業を、近くの神田外語大学へ自転車で行き、近隣の大学や研究所などの機関のある総合学園都市ならではことだ。

生徒の進路や個性に見合った多くの講座を学校内に配しておくための設備と講師数は通常の高校よりも遥かに多くなる。全校生徒2000人超の高校に大学並の大きな敷地と近代的な設備が用意されているのはそのため。この高校の生徒はその点非常に恵まれている。

幕張総合高校とベイタウンの交流は、数

年前に青少年育成委員会が音楽祭を同校のホールをお借りして行ったのが最初だが、活発になってきたのは最近である。昨年のベイタウンまつりには同校のバンドがベイタウンで演奏を行い、秋のトライアスロン大会には生徒のボランティアの援助もいただいた。そして昨年末のベイタウン最初のピアノ発表会も同校のホールを借りて行われ、多くのベイタウン住民がホールや校舎の素晴らしさに驚いていた。施設の利用や人の交流、今後も総合高校とベイタウンの交流が深まることを望む。

【松】

**仕事柄マンションそのもの話になります
が、設計者の意図、事業者の意図を汲み取りながら
良い建物を造ることで街づくりに参加
しているという意識を持っていました。**

ベイトウンの特質は、風、砂、塩という建物にとっての悪条件が揃っているという事です。普通の地域では何年経っても大丈夫なものが、ベイトウンではたった6ヶ月で錆付いてしまう。それでもベイトウンのマンションを見ていると非常に良くメンテナンスされていると感じます。

鈴木 良治さん

(清水建設シータワー工事長)

建物は必ずしも出来上がった状態が一番良くて後はどんどん劣化していくだけのものではありません。使いつまみ磨きこみながら良い状態で歳を重ねていくことで入居者にとっても街にとってもより価値あるものとなります。言ってみれば年代物の家具の良さみたいなものが出てくるのです。専有部分だけではなく、共用部分も同様に神経を使うことによって良いものになっていくでしょう。私としては「一生懸命造りましたから、後をよろしくお願ひします。」という気持ちです。

この街は小中学校や各街区の人目を引く特徴的なハードの部分ではなく、街づくりに賛同し参画している居住者の多さ、街づくりに対する意識の高さこそが特筆することだと、外部からの見学者にシータワーの上から街並みを見ながら説明してきました。

ベイトウンとの係わりは一期のオープン前の10月から、実質的には8番街からで、その後18番街、核店舗、セントラルパークウェスト、シータワーと携わりました。普通は既存の街並みの中に建物だけを建てて引き渡してしまえばお



終いなので、一つの工事現場に5年間もいたことはありません。最後の現場となったシータワーは(現時点では千葉県の中で一番高いマンション)3月から226戸の住民が入居してきます。その際にリンコスまで続く並木道が開通しますので楽しみにしてください。

住宅に関する情報が増えてきていることもあり、最近の購入者がマンションに付いて非常によく勉強している事には感心しています。建物は定規で引いたような仕上がりにはならないものですし、工場製品のように傷ひとつ無い状態で引き渡すのは非常にむずかしいものです。それでも買われる方にとっては大変大きな買い物という気持ちは充分理解できますので、内覧会や1年目、2年目の点検時のご指摘、ご要望にはできるだけ応えるようにしてきました。造る側にしても、当然良いものを残し住んでいる方に満足して頂きたいわけで、造って売れば良いというものではありません。

最近のマンションは購入者の多様なニーズに応えるべくめまぐるしく変化し、より住みやすくなってきました。モデルルームを回ってみると「本当に必要なの!」と思えるような物まで付いているものもあります。購入時には本当に自分にとって必要な部分にお金をかけているのか検討する必要がありますでしょう。マンションは限られたスペースを有効に使って造られています。マンションを購入される方、特に1次取得者の方にすすめてほしいことは、賃貸等に数年暮らしてみてもマンションライフのノウハウを知ってから建物を購入されることです。ちょっとしたところの家との相性で住み易さが随分違ってくると聞きます。

最後までベイトウン建設に携わりたいと思っていましたが、この3月から都内の再開発地域の超高層マンション建設現場に異動になります。5年あまりの長い間ベイトウンの皆様のご理解とご協力に感謝いたします。 【金】

ベイトウン お店紹介 2 Lazy Afternoon

ベイトウンのお店を紹介するシリーズ。第2回はセントラルパークウェストのパン屋さん、"Lazy Afternoon"。昨年の7月にオープンしたばかりのお店である。実はこの記事を書いている記者もお気に入りの店で、週に2、3度足を運んでは、焼き立てのパンを楽しんでいる。仕込みでお忙しい中、インタビューに応じていただいたのはご主人の「伊島 良介」さん。27才のオーナーである。

伊島さんはご自分をパンづくり職人と呼ぶ。職人を志し、若い頃からこの道に飛び込み、20才を過ぎる頃にはチーフという肩書きを持つほどの腕になっていた。東京や千葉でいるんなお店を渡りながら腕をみがいたが、常に利益とおいしいパンとの間で悩んでいたという。そんな伊島さんに独立を進めたのは、都内で「ビゴの店」というお店を経営する、フィリップ・ビゴ氏。この人に会って伊島さんは、自分の納得するパンをお客様に出すには独立しかないと感じたそうだ。故郷の新潟で自分の店を開店し、リゾートホテルの並ぶ越後湯沢にもお店を出した。首都圏で修行した伊島さんが新潟を選んだのは、日本一の米づくりの地新潟で、日本人に合ったパンをつくりたいという気持ちがあったからだという。

幕張ベイトウンにお店をだすことになったのは、ご自分が修行した首都圏にお店を持ちたいと思い、東京や千葉で適当な場所を探していたとき、ベイトウンを見て、ここなら外国帰りの方も多く、自分のパンを「おいしい」と言っていただけのお客様も多いのではと思ったから。7月にお店を開けてから、地域密着でお得意様を増やしてきた。今では開店前の7:00頃からドアをノックして、焼き立てのパンを朝食に買って行くお客様もいるという。パン屋さんの朝は早く、特に Lazy Afternoon では普通よりも発酵の時間を長く取るため、朝5:00には厨房に入っている。開店前に焼き立てのパンを出すことはなんでもないこと。ご希望の方にはいつでもお分けします。とのことである。

このシリーズではシェフ直伝のレシピをというのが恒例だが、パンの場合はつくる環境で出来が大きく左右されるので、レシピを公開してもあまり意味がないとのこと。代わりにパンづくりの好きなお客様には、業務用でしか手に入らない材

料をお分けすることや、パンづくりの疑問にお答えすることで、お役に立ちたいとのこと。

ちなみに、お店の名前の Lazy Afternoon とは、「けだるい午後」というくらいの意味。休日に家事を休んで、ご夫婦でぶらり歩きながらパンを買いに来るようなお店をイメージして、お店でレジを受け持つ奥様と一緒に考えられたそうだ。

3月にはすぐそばにシータワーがオープンし、ベイトウンからつづくけやき並木の歩道も開通する。アクセスが今より格段によくなり、「毎日すこしずつ」買いにゆくファンを増やしてゆくことだろう。 【松】





プロムナードを飾った雪だるまたち。どれも、店らしさが出ていて味わい深い。どこの店のかわかりますか？

雪の日はやっぱり、「雪だるま」だっ！

記念写真におさまって鼻高々のヤツ、おとぼけ顔でコーヒーカップを差し出すヤツ、いすにすわってタバコをくゆらすヤツ、……。1月28日。「大雪」の翌日。プロムナード沿いの店の前に愉快的雪だるまたちが姿を見せました。さすがにおとなの作ったものは、芸が細かい。

なかでも傑作だったのは、セントラルパークウエスト1階に入るイタリア料理屋「oreaji (おれあじ)」前の“作品”。子供をとりなりに立たせて写真をとるおかあさん、「天才作〜っ！」と叫ぶ女の子、交差点の一角という目立つところに立っていたせいもあって、ちょっとした人気者でした。

目はアボガドの種、まゆ毛に黄ピーマン、鼻はニンジン、口にはリンゴ。頭にはナベをかぶって、ビニール傘の手をあげ、ワインの空き瓶を足に見立てています。ちゃんと服も着ているんでしょう。シュークリーム製のボタンもついています。



作ったのは、店でコックとして働く松井俊博さん(27歳)。店の前の雪かきがてらの一品とのことです。

「ここに来る前の店にいたとき、一番下っ端で雪かきやっていたんですけど、上の人に、どうせやるなら雪だるまでもつくってみたら、

と言われて作ったのが始まりです。それから、雪かきのたびに作るようになって」

なるほど、客商売の店にとって雪の日の雪かきはずきもの。どうせやるなら楽しくやろう、というわけですね。ありあわせの材料ながら完成度が高いのも、これまでの経験がモノを言っているんでしょう。

プロムナードの雪だるま。来冬以降、新しいベイタウン名物になるかもしれませんね。
【茂木】

工事現場を囲う壁には子どもたちの絵とコアの完成予想図 コミュニティコア建設工事始まる

ついに待望のコミュニティコアの建設工事が開始され、工事囲いの壁には打瀬小学校子どもたちの絵が貼られています。絵を描いたのは主に2年生の子どもたち。今回は壁に直接描くのではなく、予め描かれた絵をコンピュータで拡大し、

シールにして貼り付けるといふ方法で壁がつぎつぎに埋められて行きました。ベイタウンニュースのこの号が出る頃には壁は全部埋まっていることでしょう。壁には子どもたちの絵のほかにもコアの完成予想図も貼られています。



神田外語大学、市民大学講座

あなたの街の大学でキャンパスライフを体験してみませんか？

神田外語大学では、現在、平成13年度前期・通年科目の聴講生を募集しています。今までの英米語・中国語・スペイン語・韓国語に加え、今年度から国際コミュニケーション学科と国際言語文化学科を開設しました。タイ語・インドネシア語・ベトナム語・ポルトガル語・アラビア語などの珍しい言語を学ぶことができます。図書館はもちろん、メディアプラザで最新のパソコンを利用することもできます。興味のある方・募集要項が欲しい方は、ぜひ下記までお問い合わせください。

また、単位取得をめざす方は、科目等履修生制度がございまして、そちらをご利用ください。

出願期間：平成13年3月15日(木)～3月28日(水)

神田外語大学 教務課 聴講生担当
TEL:043-273-1320 FAX:043-273-1197
e-mail chokosei@kanda.kuis.ac.jp

まちづくり研究会、3月の予定

日 時：3月4日（日）13:30～15:30 頃
場 所：パティオス13番街集会室（予定）
内 容：まちづくりのテーマと検討方法（秋のフォーラムに
向けて）、5月のベイトウンまつりに向けての準備
ほか。

市民吹奏楽団 チバ・ウィンド・A.S.I.

来る3月18日（日）、千葉市民会館大ホールにて第12回定期演奏会“Symphonic island vol.12”を開催します。
入場は無料、Open：14:30～です。
たくさんの方のご来場をお待ちしております。
プログラムは2番街掲示板に掲載しています。
市民吹奏バンドは、約45名のメンバーから成ります。
立ち上げは、17番街の澤田さんです。現在、ベイトウンからは、6人が参加しています。他のメンバーも検見川浜や幕張町などの近隣住民が参加しています。

あのとのご親切にお礼ができました

先月号のこの欄でお伝えした「あの時のご親切にお礼がしたい」の投書に、ご返事がありました。怪我をされたミラリオの柿原さんは、助けていただいた方にお会いし、お礼をすることができたとのこと。ベイトウンニュースがどのくらいの方に読まれていただいているか分からず、編集部でも連絡があるかどうか不安でしたが、これで一安心。
今後も読者の皆さんの投書を歓迎します。



賃貸住宅のお問い合わせは
総合募集センター津田沼案内所
TEL:047-478-3711
公団住宅の駐車場のお問い合わせは
日本総合住生活（株）千葉支店

■私自身のIT体験をひとつ。電話で申し込んでも全然とれなかったサッカーの日韓戦のチケットを、友人がサッカー愛好家のHPのオークションでGet! 行けなくなったチケットをネット上で告知し、それを見た希望者は買ってもいいという値段を入力。締め切り時間までに一番高い値段をつけた人に競り落とされ、代金は相手の銀行口座に振り込む仕組み。入金が確認されるとチケットの予約番号を知らせてくれます。

なお、気になる「信頼度」はこれまでのオークションの結果から採点され格付け（？）されているので、法外な値段も払わず、即座に売買成立。「こんな手があったとは！」

他にもアンティークドールの愛好家の知り合いがネットオークションで欲しい人形を競り落とし、その売り手はドイツ人だったという話も。情報が世界を飛び回っているとつくづく感じます。まだまだ、こんなインターネットの使い方をしているよという情報をお寄せください。

タウンスケッチ記者：#3-310 佐藤則子（T&F211-0090）

■打瀬小で子供たちが「明るい学校づくり」の標語をつくった。新1年生の入学説明会に出たときにちょうど会場のアリーナにはってあった。ウチの子供のもあるので3年と4年のを見ていたら、なかなかおもしろい。いちばん気に入ったのは「学校は楽しければそれでいい」（作者の子、無断転用ゴメンネ）。いいなあ、この味わい。

記者：#7-301 茂木俊輔（T&F211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp）

■今回の「IT特集」、取材もほとんどE-mailやインターネットのBBSを使いました。便利なもので、ネットによる連絡はすぐにお返事がいただけるので、スペースとメ切的のぎりぎりまで、皆さんのご協力に頼りました。ベイトウンネットスタッフの皆さん、ミネソタの鈴木さん、俺達ページの小野さん、柴崎さん、田坂さん、打瀬中学校の先生方、IT担当の皆さん（東の街・西の街・18番街）CNCTVの石崎さん、無線での常時接続サービスのお話をしてくださったCPWの荒巻さん、ありがとうございました。

記者：#公園東 浜田貴代子（atmark@pop01.odn.ne.jp）

■春の暖かさと寒さが繰り返しています。今年も去年に引き続き花粉が多いそうですが、原っぱが多いこの街に住むようになって花粉症がひどくなったような気がします。それでも早く暖かくなって、週末の街に賑わいが戻って欲しいものです。この街はやはり人出がないと寒々として寂しく感じられます。

企画：#3-220 金一剛（T&F211-0388/ikkim@xa2.so-net.ne.jp）

堤防整備と連携した住宅市街地開発

西島リバーサイドヒル（大阪市此花区）

公団では、各地で河川管理者である国土交通省や都道府県と連携し、これまで分断されがちだった市街地と河川の一体的な開発を行っています。

大阪市の中心部を流れる淀川に面した西島リバーサイドヒルでは、既存市街地での工場跡地を利用して計画されたものですが、ここでは大洪水による被害を防ぎ、安心で安全な暮らしを守るため、国土交通省（当時は建設省）が整備したスーパー堤防（高規格堤防）と呼ばれる新しい形の堤防との一体的な整備による街づくりを行いました。

1：29の勾配を持ったスーパー堤防の上に計画された街は、緩やかな起伏を有し、親水性や防災性も高く、従来背を向けあっていた大都市圏の市街地と河川のイメージを一新し、魅力的な景観を創り出しています。



都市公団

校外学習で学ぶ

2月2日(金)に打瀬中学校の1年は進路学習の一環として近隣の職場を訪問し、さまざまな体験活動をしました。4ヶ月前からこの企画は準備され29ヶ所の訪問先が決まりました。生徒は体験を通して働く人を内側から見ることで働くことの意義や尊さを学びます。この日、生徒は3~6人グループをつくり、それぞれの訪問先へ向かいました。

生徒の感想から

磯辺保育所：この磯辺保育所を訪問するまでは、この仕事は子供がわがままなどを言いとでも大変な仕事なのかなと思っていましたが、先生方に聞くとわがままを言うことは子供が心を開いてくれたことだから嬉しいと言っていました。このことがとても印象深かったです。あと、先生につらいことなどを聞いたとき、『子供に怪我をさせてしまった時』と聞いて本当に子供が大事で好きなんだなとわかった気がします。栄養士さんなど、保育所にはいろいろな人がいるのもびっくりしました。(笹本さん)

川村農園：祖父が農家出身なのですが、市場に出すために洗ったりしている所を僕は見たことがありません。でも、今回の職場訪問で、洗ったり良い葉と悪い葉をより分けている所を見て、いつも食べているハウレン草はこんなに時間を費やしているのだなと思いました。ありがとうございました。(加藤君)

職場訪問現場ルポ

生徒のこの日の様子のある学級通信から伝えます。

8:15 幕張駅で最初の出会い

まずは、農業体験の班が川村農園の方と待ち合わせる幕張駅北口へ。車を少し広い道に置いて駅前に歩いていくと駅の階段を降りた近くの駐車場に座り込む少年3人発見。リンコスの前で待ち合わせて、歩いて30分かかったそうだ。……

8:45 地元での姿

学校に戻りながら打瀬の街路を走る。デイリーマートの店内をのぞきながら通り過ぎると店内で殊勝な顔で説明を受ける3人の姿。店長さんが自らテキパキと働きながら仕事の内容を説明中。班の3人は「ハイ、ハイ」と返事をしながら店長さんのイソイソとした動作に自分達も何かを手伝いたそう。ごみを専用の置き場に捨てに行くときによく「誰か持ってくる？」と言われて、先を競うように手を出していた。……

10:00 Bay FMのスタジオへ

WBG27階のスタジオマリブのドアの前に立つと、中には制服姿の警備員さん。「さすがに出入り自由じゃないんだあ。」と少々緊張しながら中に入る。ガラスの向こうの部屋でソファに腰掛ける班のメンバー発見！安心して入室、ご挨拶。……

10:30 ハウレン草の収穫・出荷の現場

あらかじめ送っていただいた地図を頼りに武石の川村さんの畑に向かう。表札が出ていないので恐る恐るそれらしい農家の敷地に入ると、奥の作業場に朝の3人がいた。

中には収穫したハウレン草の山。3人の靴が泥だらけになっている事が作業をがんばった証拠だ。300gずつ束ねる作業をしながら『先生、この子たちはいい生徒さんだねえ。熱心だし、素直な子供達だ。』と川村さんが実に心のこもった声で話してくださった。おー！うれしい！……班員と別れ次の職場に向かった。何だか胸がホカホカしていた。

11:00 プレナ3店を一気にはしご

再び海岸に戻り、プレナへ。まずは新星堂スポーツへ。明るい店内を見回すと、いたいた。ぎっしり並べられているスポーツ用品の向こうに見慣れた顔だ。質問を終えて店内を見学中……。美容室に着くと、店の奥には人形を使って髪を巻く体験中の女子3人の姿。「うま〜い」と照れながら、美容師さんの手ほどきを受けてがんばっていた。エスカレーターで1階に降りていくと、真っ正面に見えるのはサンエトワールの窓。そしてその中に映るのはうれしそうにパン作りに取り組む班員たち。……ウキウキと弾む心が手に取るように感じられた。

1:10 学校着



美浜郵便局内にて

限られた数しか廻る事はできなかったが、それぞれ一生懸命に活動している様子を喜びながら学校に戻る。どんな職種であれ本物の仕事に接するのはみんなの心を動かすのだと実感した。

一日中市内を駆け巡られた先生方ご苦労様でした。それから、仕事に貴重な時間を生徒のために割いてくださいました関係者の皆様、誠にありがとうございました。

同じこの日に2年生は、理科・社会・美術校外学習を行ないました。理科や社会、美術といった教科に関連する千葉市内の施設を訪問し、教室では得られない学習の機会をつくりました。

生徒の感想から

千葉市内を歩きや電車、モノレールで見て廻ったことが無かったので、とても面白かった。地図で見たときよりも、とても近かったり、現在地が良くつかめなかったり、少し困ったけれどそれもいい経験になった。小さいころ行ったところも違った視点で見られたりして面白かった。浮世絵展は最高に面白かった。浮世絵のすばらしさに触れられてよかった。なかなか校外学習以外で行けないと思うので、今回、千葉市内の一部だけけれど巡れて良かった。(越さん)

千葉でいつも遊んでいるけど、ゲーセンとかパルコかデパートとかしか行かなかったので、全くこんなものがあることを知りませんでした。ゲーセンとかも面白いけど、やはり本物の浮世絵を見たり、貝塚に行ったり、科学に触れてみたりするのは心が落ち着いたような感じがした。あと、いろいろなマナーも知ることができた。美術館の中はとても静かで少し緊張感があり、普段ぜったいに知ることのできないことを知れた。これからの自分に役立てたい。(竹田君)



美浜消防署打瀬主張所にて

@Space

バスケットボール部

2月4日(日) 一年生大会(男女)ブロック決勝

会場：稲浜中学校

男子 優勝 打瀬中：朝日ヶ丘中 25-15

女子 準優勝 打瀬中：山王中 21-26

男女とも自分達の力を出しきりました。大変闘志あふれる試合でした。(顧問：伊藤 談)

2月12日(月) マリンカップ男子

会場：真砂第二中学校

男子：打瀬中：真砂第一 11-15 (惜敗)

2月18日(日) マリンカップ女子

会場：真砂第二中学校

女子：打瀬中：渋谷幕張中 10-11 (惜敗)

男女とも生徒は良く頑張りました。(顧問：伊藤 談)

サッカー部

2月10日(土) 市民ロードリレー大会中学生男子の部

会場：稲毛海浜公園

市民ロードリレー中学生男子の部(30チーム参加)

第5位 35分47秒(2km×5人)

金森友朗、長島桂市、北野康、土手内洋平、長島俊介

サッカーのトレーニングの一環としてランニングを継続して頑張っている成果が出たと思います。3S(スタミナ、スピード、スピリット)のバランスがとれたチームになって欲しいと思います。(顧問：辰野 談)

陸上部

2月10日(土) 千葉市新人ロードリレー大会

会場：稲毛海浜公園

新人ロード女子の部(学校代表)

第4位 39分35秒

渡辺菜津子、江口由夏、内海明子、北川晶子、田岡春菜

市民ロードリレー大会中学生女子の部

第5位 43分51秒

岡田 唯、笹本みどり、武 千春、

尾崎友香、高橋文美

新人ロードの部で4位に入賞できて、とてもうれしいです。1区以外は全員短距離選手ですから、市民ロード女子も5位。冬季トレーニングの成果でしょう。男子チーム(武君、東堂君、中田君、三橋君、内田君)も全員1年生ながら検討しました。来年が楽しみです。(顧問：渡邊 談)

2月18日(日) 昭和の森市民クロスカントリー大会

会場：昭和の森

中学生女子3000mの部 6位 渡辺菜津子

8位 田岡 春菜

冬のトレーニングの締めくくりとして全員参加。梅の花も見事に咲いていたのですが、景色を眺める余裕などあるわけが無い!!アップダウンの厳しいコースを頑張って走りました。(顧問：渡邊 談)